



岩見沢市  
開庁140年  
市制施行80周年  
祝賀、石見、いて、重々々。

# 受け継がれる<sup>おも</sup>想い

岩見沢は今年、開庁140年、市制施行80周年を迎えます。これを記念し、岩見沢のこれまでのあゆみや岩見沢に関わりの深い人、出来事などを紹介します。

## 第4回

### 初代栗沢村長 山田<sup>せいたろう</sup>勢太郎

山田勢太郎は、慶應3年6月、紀伊国和歌山出口中ノ通（現 和歌山市）で、寺社奉行 山田甚之丞の長男として誕生。10代で父母と死別し、弟妹と共に義兄の岡道亮宅に身を寄せました。県立師範学校を卒業後、県下の小学校で教職に就きましたが、明治23年に渡道して義兄と共同で幌向村幌向川左岸（現 栗沢町北斗）に30万坪の岡山農場を開きました。明治25年に栗沢村が誕生し、同42年の一級町村制の施行により初代村長に選ばれました。

二宮尊徳の「報徳」の教えを農場経営に取り入れ、それを村政においても重んじ、その出発点に青年指導を置くとともに不測の出費に備えて儉約貯蓄を奨励し、村長自ら市街地各戸を巡回集金して貯蓄と納税観念の普及に努めました。また、山林ほか基本財産の造成や自作農の創設、丘陵地農業経営の振興、農家には共同作業や畜産を奨励するほか、農繁期に託児所も開設しました。話術が巧妙でユーモアがあり、冠婚葬祭などの会合では「おやぢ、が来た」と喜ばれ、紛糾した議論も和やかに終わるなど、その人柄から大正11年、北海道町村長会創立と同時に会長に選ばれ、また大正5年から昭和3年までは道会議員も務めました。



清真布農村託児所（昭和3年頃）



昭和5年には自治功労者として宮中観桜会に招待され、その功績が称えられますが、翌年6月に逝去。昭和10年6月1日、栗沢村役場前庭での勢太郎の銅像除幕式では、遺族をはじめ村民ら4,000人余が、フロックコートに愛用のステッキ姿の厳かな立像を仰ぎ見たそうです。立場や世代を超え人の和をもって助け合う報徳精神は、今も栗沢地域に引き継がれています。

### 人の動き（令和5年5月31日現在）

●住民基本台帳	人口	男	35,490人	(前月比 - 37)
		女	40,522人	(前月比 - 32)
	総数		76,012人	(前月比 - 69)
	世帯数		40,911世帯	(前月比 - 20)

### 岩見沢市役所

☎ 068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

☎ 0126-23-4111 (代表) FAX 0126-23-9977

ホームページ

<https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp>



Twitter



Facebook



Instagram



LINE

発行・編集 岩見沢市総務部秘書課広報係

### 広報 クイズ

#### 問題

令和2年から3年間、地域おこし推進員として活動した瀬尾洋裕さんが整備したルコチパークは、□□町にあります。  
□に当てはまる言葉をお答えください。

#### プレゼント

正解者の中から抽選で10人に図書カード500円分をプレゼント

締め切り 7月20日(木) (必着)

#### 応募方法

はがき（送付先左記）、市ホームページのフォーム、ファックス（0126-23-7731）、Eメール（pr@city.iwamizawa.lg.jp）で、●クイズの答え●住所●氏名●年齢●電話番号●広報紙に関するご意見・ご要望を必ず記入し、総務部秘書課広報係へ。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。6月号の正解は説明会でした。

